

## 令和6年度呉市総合計画審議会における提案・意見等に対する回答

### 議題1 第5次呉市長期総合計画における主な取組について

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
1	<p>○子育て支援について、呉市の施策は、結構充実していて他の自治体よりいい。ポスターなどを市役所に貼っているが、もっと親しみやすい形で、LINEやSNSを使い、今の若い人たちに響くように、きちんと活動を知らせ認識できるように市民や市外の方へ広報していくことを要望する。</p> <p>○予算項目にあげていくぐらい力を入れ、子育て支援にも強い呉市をアピールしてほしい。</p>	<p>こ 秘 ど 書 も 広 支 報 援 課 課 ・</p>	<p>○令和6年9月に呉市LINE公式アカウントのリニューアルを行い、子育てに関するサービスや手続きの情報を集約し、ほしい情報へのアクセス容易性を向上させました。</p> <p>今後とも子育て世代をはじめ市民が知りたい、また市民のために知っていただきたい情報の有効な発信についてたゆまない努力をしてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
2	<p>○不登校児が多いというのが世の中の傾向だが、受け皿がないことを色んな方から聞いている。学校によって、フリースクールがある学校、ない学校、あっても機能していない学校、小学校は機能しているのに中学校に上がった途端空き部屋に行かされるなど。空き教室に教師がいるかと言えないという状態だと聞いて、その子たちは一体どうやって学習を進めるのだろうかとすごく不安に思う人もたくさんいる。実際にそういう親御さんから話を聞いて、不安に感じている。その辺りの連携など課題であると思う。</p> <p>○不登校児の受け入れ先がないことがすごく問題だと思う。また、支援学級に入れるかと言えば、診断がつかないと入れない、そうなると結局グレーと言われる子たちは教育を受けられないという現状が、すごく問題だと感じている。</p>	<p>学校安全課</p>	<p>○教育委員会では、不登校児童生徒に対する支援として、学校の内外を問わず、「不登校児童生徒が安心できる居場所づくり」を進めながら、「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、将来の社会的自立を目指した支援に取り組んでおります。</p> <p>居場所づくりといたしましては、登校できる児童生徒の中で教室以外の居場所が必要な場合は、校内SSR、個別の支援が必要な児童生徒には学校生活適応支援員の活用、学校に来ることができないが、外出できる児童生徒には呉市教育支援センターや※スクール”S”の活用、家から出にくい児童生徒には、オンラインによる授業配信など、児童生徒の実態に応じて行っております。</p> <p>今後も引き続き、各学校の児童生徒の状況を把握しながらSSRの設置も含めた居場所づくりについて検討するとともに、不登校児童生徒一人ひとりの実態に応じた支援を進め、将来の社会的自立を目指してまいります。</p> <p>※不登校等の小中学生を支援する広島県の教育支援センター。東広島市の広島県立教育支援センター内に設置されており、来室による利用（各教科等の体験的な活動など）とオンラインによる利用（学習アプリの活用やプログラムの配信）又はその併用が可能であり、児童生徒の社会的自立に向けた成長を支援する。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
3	<p>○市長の定例会見を1ヶ月に1回、これは市長だけの責任ではなく、それぞれの部局の職員の方を含めて、今呉市が取り組んでる仕事はこんなことがあるのだということをもっとPRして発信すれば、市民にも色々な形で市の仕事を理解してもらうことに繋がると思う。</p>	秘書広報課	<p>○定例記者会見の実施について検討中です。</p>

# 令和6年度呉市総合計画審議会における提案・意見等に対する回答

## 議題2 後期基本計画（令和8年度～令和12年度）で取り組む施策について

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
1	<p>○政策分野3 市民生活・防災分野について、まちづくりの担い手が減少している。 今支えている市民の方々は高齢化し、新しく入ってくる方はごく少ない。コロナ禍で市民の方も役に立とう、外に出て一緒にやろうという気持ちが半減している。</p> <p>その危機感の中で「まちづくりの担い手の確保」ではなく、「多様な担い手の参画を促進していく」ようにきっちり書いていかないと増えていかないと思う。</p> <p>このままだと、普通の生活の中で色んなことが上手くいかなくなるという危機感を持っている。その辺をもう少し踏み込んで書いていただけたら嬉しい。</p>	地域協働課	<p>○地域においては、ライフスタイルの変化（共働きの増加、定年延長、勤務時間の多様化等）による地域住民のつながりの希薄化、人口減少、少子高齢化などによるまちづくりの担い手不足、地域活動への関心の低下など様々な課題を抱えています。</p> <p>これらの背景を踏まえ、呉市では令和2年度から2か年にわたり有識者等を委員とする「呉市住民自治組織あり方検討委員会」を設置し、様々な課題に対し検討を行いました。</p> <p>地域における担い手や加入者を増やす方策など地域が抱える課題に対して、市内外の先進事例を掲載した事例集（ヒント集）を作成し、呉市ホームページに掲載するとともに、市内全自治会にお配りし地域活動の参考にしていただいているところです。</p> <p>後期基本計画の策定に当たっては、地域において自主的で自立したまちづくりを進めるため、これまで地域活動に関心が薄かった若者世代や外国人など多様な担い手の参画を促進していくことを後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
2	<p>○まだまだ呉市は、障害者の方が一人で通勤できるような環境ではないという話を聞いた。高齢者や障害者の方のタクシー割引制度をされていると思うが、更なる充実化や企業と呉市が一緒になって、取り組んで要請するなどしていただきたい。</p>	<p>障害福祉課</p>	<p>○通勤において、家族が送迎されている方の事情も、乗り降りの介助が必要、一人での移動に不安があるなど、様々だと考えます。通勤の際のヘルパーによる介助（移動支援）は原則できませんが、バスを一人で利用できるようにするために介助者と練習をするという目的で、移動支援というサービスを利用することはできます。障害のある方の就労を促進するための環境整備を行っていくためにも、障害のある方の通勤手段や通勤手当の支給状況をはじめとした就労の実態について、企業の方からご意見をいただきながら、タクシー料金以外で、どのような対応が必要なのかを一緒に考えていきたいと思えます。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
3	<p>○呉市総合スポーツセンターが産業団地へ転換されたことは、非常に良い政策だったと考えている。今後ディスコが入るが、その後どういう形になっていくのかをPRしてもらいながら、そこを生かす政策を打っていただきたいと考えている。</p>	商工振興課	<p>○呉市総合スポーツセンターでのディスコ新工場建設については、今後段階的に進んでいくものと考えています。 このことについて現在のところ、同社から詳細が示されていませんが、当該地での同社の事業拡張を支援することは、今後の本市経済の発展や雇用拡大、半導体産業の育成などにつながるものと考えていますので、引き続き、企業立地条例による助成とともに、国・県に対し支援の要望を行い、同社の立地をしっかりと支援していきたいと考えています。</p>
4	<p>○呉市が決められることではないが、日鉄の跡地に関して、呉市も防衛省に協力し、雇用の場を増やしていく政策をPRできるようにしたら良いと感じている。</p>		<p>○日鉄呉地区跡地については、現在、防衛省が多機能な複合防衛拠点の整備を検討しており、これまで2度開催された同省、日鉄、広島県、呉市の4者協議の場において、呉市として必要な意見はしっかりと伝えていきます。 また7月3日には、呉市長・呉市議会議長が防衛省を訪問し「自衛隊員及び民間企業で勤務する人員の増加により、雇用拡大につながる施設とすること」を要望したところです。 いずれにしても、この跡地が呉市にとってよりよい利活用となるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p>
5	<p>○政策分野ごとではなく、色々携わっていくというような1つの大きな基盤みたいなものが、今後求められてくるのではないかと。 色んな分野別に行くと、その分野で見るとどうしても細くなっていくものが、総合力という横串を刺すことによってある程度、大きな力となり、取り組みも力強くなっていくと思うので、次の後期基本計画の5年の中で検討していかれてはどうか。</p>	企画課	<p>○現行の長期総合計画においては、政策分野ごとに施策を体系的に整理しています。 ○横串を指す横断的な施策の位置付けについては、現行の施策体系と異なることから、難しい点もあると考えますが、後期基本計画の策定の中で検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
6	<p>○地縁による団体等に求められていた機能を代替する方法について検討を進めていくことが必要になってくるのではないかと考えている。特にDXの方を重視して様々な業務の見直しがある。</p>	地域協働課	<p>○地縁による団体等の負担増加に対する対応については、令和2年度から2か年にわたり設置した「呉市住民自治組織あり方検討委員会」の中で議論され、市役所において検討する事項として整理されました。</p> <p>このことを受け呉市では、地域の負担軽減及び地域の支援体制に係る取組17項目について、令和4年度から庁内で関係各課によるワーキンググループを構成し、改善に向け検討を行っております。</p> <p>これまで、地縁団体の役員等への依頼事項の負担軽減や自治会への依頼事項の負担軽減などについて、順次、負担の改善を行っており、引き続き、既存の枠組みにとらわれず、仕組みの変革を行ってまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
7	<p>○政策分野3の市民生活・防災分野の自主防災組織の充実・強化について、一体どれくらいの方数を育成されようとしているのかという数字的なものがもう少しあれば、今どういう進捗状況なのかというのも想像できると思うがいかがか。</p>	<p>危機管理課</p>	<p>○自主防災組織の充実強化について、当市では、その活動の中核となる防災リーダー（現在、約650名が登録）のスキルアップに取り組んでいるところです。現在、当市には約400の自主防災組織が結成されており、各自主防災組織に1名以上、スキルの高い防災リーダーを確保したいと考えております。</p> <p>そのため、毎年度、対象地域を変えつつ、スキルアップのための充実強化研修（防災講話の計画・実施、避難所の開設・運営）を行っており、令和4・5年度で67名の防災リーダーが研修を修了されました。今後、充実強化研修の効果を検証し、より効果的な研修へと改善していきたいと考えております。</p>
8	<p>○総合防災訓練（広島県と合同）について、いざというときのことを想定して防災訓練を行うが、行政側からの発信だけではなく、受け手側の方が自分ごととして考える確認のようなことを普段からできていることが極めて大事である。防災情報に限らずいろんな情報は相互に行ったり来たりしながら信頼性も増すし、役に立つ状態にできているので、その部分を加えてほしい。</p>		

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
9	<p>○「（仮称）天応西条第2公園の整備」，「豪雨災害の教訓や記憶を継承し」について，非常に大事だが，これは市の方が主導で作られたのか，市民の方からそういうものを作って欲しいという意見等がたくさんあって作られたのか，ここが極めて重要で，作ってもそれが活かない例というのはいっぱいある。豪雨災害の教訓や記憶の継承をしていく点は，すごく大事だが，これが本当に実現できる環境にあるかどうかというのが，問題になるところだと思う。</p>	復興総室	<p>○「豪雨災害の教訓や記憶の継承」「（仮称）天応西条第2公園の整備」は，それぞれ呉市復興計画及び復興計画（地区計画）に基づき実施している事業です。</p> <p>復興計画については，学識経験者，関係機関，市民の皆様などに参画いただいた検討委員会でいただいた意見を参考に策定させていただいております。また，復興計画（地区計画）についても，天応地区では住民の皆様に参加いただいたワークショップを5回開催し，ワークショップからいただいた提案を参考に策定させていただいております。</p> <p>本市では，豪雨災害の記憶を風化させることなく未来へ継承する取組を「呉市復興ミュージアム」と位置づけ，展示パネル・説明板・映像資料等を制作し，災害の記憶を教訓として活かすとともに，市民の防災意識の向上に取り組んでおります。</p> <p>現在，呉市ホームページにて映像資料等を見ただくことができるとともに，各市民センターにおいてパネル展を巡回展示しています。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
10	<p>○これから国際化していく中で、外国人をどういう形で受け入れていくか、一緒に共生的にどういうタイプの外国人をどういう形で受け入れて一緒に行っていくかということもどこの自治体でも避けて通れない非常に重要な問題であると思った。その部分については、今日の資料の中には明確な記述がないので、いずれ考えていく必要があるのではないかと。</p>	地域協働課	<p>○外国人住民にとって言葉や文化の違いが大きな壁となっており、コミュニケーション不足によるトラブルも少なくありません。誰もが安心して暮らすことができるよう、今後も多文化共生事業を推進し、交流を深め、顔の見える関係づくりに努めるとともに、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>
11	<p>○本来の子育てとは、自分の子どもが社会の構成員になるということが究極のゴールだというふうに思っている。社会に出て社会人になれるところまで見て子育ての支援だと思うので、小学校に入るまでということではなく、呉市民として活躍するなど、連続して見ていけるような政策にぜひしてほしい。</p>	こども支援課	<p>○こども基本法において、こどもとは「心身の発達の過程にある者」と定義されており、令和6年度策定中のこども計画においてもこの考えのもと、取り組むべき事項を検討しています。 後期基本計画の策定においても、取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>
12	<p>○高齢者福祉の推進に関して、認知症が進行すると個人差はあるが、暴言や暴力、徘徊、失禁などの症状が現れ、24時間何をするか分からない状態になるため、介護にあたる家族の介護負担やストレスは大きい。そうした家族の介護負担を軽減するため、認知症の人と家族を分けて、家族のケアや意見を聞いてあげるような対策を進めていけば良いのではないかと。特に島に住んでおり、高齢化が進み色々な人が出てきているので、ぜひともお願いしたい。</p>	高齢者支援課	<p>○認知症になっても誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられることができるように、令和6年7月から認知症の発症予防、早期発見、生活支援・重症化予防、介護者支援や事故に対する補償の取組を一体的に提供する認知症パッケージ事業を開始しています。 具体的には、発症予防を目的として会話ができる楽しみを支援するための補聴器の購入助成や、認知症を早期に発見するための検査の充実、認知症の方が外出先で加害者となる事故が発生した場合、本人やご家族だけにその責任を負わせることがないよう、呉市が保険に加入し補償をする取組などを行っています。 また、従来から介護者支援として、認知症家族の交流会や認知症の方への接し方を学ぶ教室を開催しています。 このように様々な取組を行っていますが、引き続き皆様のご意見をお聞きしながら認知症の方やご家族が安心して暮らせるような取組を検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
13	<p>○新たなスポーツ施設をつくるときに、外で行うものについては、屋根付きのインドアの施設が必要になってくるだろうと思う。体育館の種目においては、体育館にエアコンを付けて行うことが必要になってくると思っている。</p>	<p>スポーツ振興課</p>	<p>○現在、総合スポーツセンターにあるスポーツ施設について、移転・再配置を進めているところです。屋外施設が中心ですので、陸上競技場の観覧席や休憩するベンチ等にも屋根を設置するなど、暑さ対策について考慮しながら整備していきたいと考えております。</p> <p>また、インドア施設についても、今後整備を行う時には、エアコン設置も含め、暑さ対策について検討していきたいと考えております。</p>
14	<p>○総合スポーツ公園みたいな形ができれば良いがそれが無理なら、それぞれの地区にそれぞれの種目に応じたより良いものをつくるべきと思う。その際に、先ほど言った屋根とエアコンと観客が見れるようなスタンドがあれば、そこをイベント会場にでき、プロ選手などを呼べるということに繋がってくると思う。その際、専門家の意見を聞いていただくと非常に助かる。</p>		<p>○この度の総合スポーツセンターの移転・再配置については、利便性が高く充実した機能を有する施設となるような整備を検討しております。</p> <p>整備については、各種スポーツ団体をはじめ、専門家などの意見を丁寧に聞きながら、進めていきたいと考えております。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
15	○高校生や中学生達の放課後、まちの中になかなか居場所がないという話を聞く。まちづくりに対する関わり場所を作っていくことや、居場所をもう少しつくっていく視点が必要と感じた。	企画課	○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。
16	○バリアフリーマップやハザードマップについて、伝わるかどうか、1つ大事なポイントとしてあると思う。評価の視点として行った、行っていないというのは非常に大事とは思いますが、さらに踏み込んでそれが伝わっているかも評価の視点にあると良いと思った。	危機管理課	<p>○現在、ハザードマップについては、紙媒体とWEB媒体（多言語対応）の2種類を作成し、様々なニーズに応えられるよう発信しているところです。</p> <p>ハザードマップの見方については、地域へ職員が出向いて実施する防災講話や、様々なイベントを通じて案内しています。例えば、外国人に対しては、毎年、国際交流協会のイベントでブースを構えて、防災グッズの紹介などとともに実施しています。</p> <p>現在は、視覚障害者を対象とした、音声で案内する「耳で聞くハザードマップ」の導入について検討を進めており、今後は、広報手法も含め、支援団体とも協議を重ねていきたいと考えています。</p> <p>また、ハザードマップの更新については、上述の対面による広報機会などを通じて、市民ニーズを把握し、対象者に合わせた様々な媒体や表現を用いるほか、その発信方法についても、1人でも多くの方に届き、理解できるような手法を検討しているところです。</p> <p>今後も、引き続き重要な情報が分かり易く確実に伝えられるよう取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>なお、伝わっているかどうかという評価については、イベントや講話の開催時にアンケートをとるなどして把握に努めて参ります。</p>
		都市計画課	<p>○今年度中の公表を目指し、現在電子版のバリアフリーマップの作成作業を進めているところです。</p> <p>○作成するバリアフリーマップは、一般の方もコメント等を書き込めることができる機能を有しており、作成後には、コメントの状況や、利用状況を確認してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
17	○被災した際にペットを同伴できる被災地があるかどうかという話があるが、呉市はどうか。	危機管理課	<p>○呉市では、ペットと避難することのできる避難所として、各地区のまちづくりセンターなど約20箇所において開設しているところです。</p> <p>ペットは、専用の部屋で、飼い主が持参したケージに入れた状態で滞在させるとともに、世話は飼い主が行うよう、広報物（避難の手引き）などで周知しています。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
18	<p>○よく堺川沿いでイベントを行っていると思うが、とても素敵だと思っている。店の人は大変かもしれないが、毎週末にあっても良いと思った。若い人たちに魅力的なものがイベントのときだけではなく、恒常的にあれば、もっと呉に来てくれる人も増えると思う。</p>	商工振興課	<p>○現在、各イベントを実施する事業者・団体の負担が少なくなるよう、イベントの開催経費の一部助成等の支援を実施しています。</p> <p>また、事業者やにぎわいが増えることでイベント開催の機運醸成にもつながると考え、創業・起業の支援にも取り組み、まちなかのにぎわい創出に努めてまいります。</p>
19	<p>○他の市町では、移住して欲しい若い人たち向けにおしゃれなパンフレットを作っている。こういうところがうちの町の良いところ、悪いところもこういうところで困るからこれは変えていきたいなど、すごく丁寧にパンフレットを作っているところが多い。</p> <p>呉市も行っていると思うが、もっと行ってほしい。</p>	住宅政策課	<p>○呉市では、令和6年度において「呉市移住ガイドブック」を制作中です。</p> <p>ガイドブックに掲載する内容は、市域全体ではなく、各エリアごとの紹介、実際に移住された方のインタビュー記事及び数字で分かる呉市の暮らしとして、各種データの掲載等を検討しております。</p> <p>令和5年4月1日に開設した「呉市移住定住ポータルサイト KURETO」による情報発信に加え、新たに制作する移住ガイドブックにより本市の魅力を発信し、特に若年層の増加に繋がるよう取り組んでまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
20	<p>○地域の中小企業の経営者の方々は、人材不足で悩んでおられる。人材不足は、これからもっと深刻化し、事業継続にも関わってくるのではないかと危機感を感じている。そういった意味で、この地域の経済産業基盤を支えている人材をどうやって確保していくかという施策があってもいいと感じている。</p>	<p>商工振興課</p>	<p>○中小企業の人材確保については、中小企業振興会議において、令和6年度の重点取組テーマに位置付け、ワーキンググループを設置し、効果的な施策について、現在議論を進めています。 そこでの議論を踏まえ、効果的な施策について、今後、事業化していきたいと考えています。</p>
21	<p>○とても良い施策がたくさんあるが、なかなか呉市民に伝わっていないことが多いと感じている。何かイベントをするときにも市政だよりを見たという意見がすごく多いので、困ったときにはどこに連絡をしたら良いか確認できる一覧表のようなものを作ってもらい、市政だよりに挟んで配ってもらえると良いと思う。例えば、ヤングケアラーの方が、どこに相談したらよいか分からない場合、ここへ連絡をしてくださいとかそういうのがあればもう少し良いのかなと感じた。困った場合に、どこに連絡したらよいかわかりやすいように整理してほしい。</p>	<p>秘書広報課</p>	<p>○市では、市役所の窓口や手続きをはじめ、困ったときにどこに連絡したらよいかを一冊にまとめた情報誌「市民暮らしのガイドくれ」を2年に1度発行し、全世帯に配布しています。このガイドにはおたずねの様々なお困りについての相談先も掲載しています。ヤングケアラーについても、次回1月の発行予定号(市民暮らしのガイドくれ)に、掲載する予定です。</p>
22	<p>○無線放送のことについて、無線放送が全然聞こえない、警察の放送も何を言っているのか全然わからない。放送した内容がホームページなどで見られると、人を探していることも字でわかるので、市民にわかりやすくよいと思う。</p>	<p>危機管理課</p>	<p>○避難情報を発表する場合、市民の方への情報伝達手段として、防災行政無線をはじめ、市防災情報メールや各種SNS、ホームページへ文字情報として配信し、多様な方法で情報をお届けできるよう努めております。 ご質問にあります行方不明者情報のホームページ等への掲載でございますが、行方不明者に係る無線放送は、警察からの依頼を受けて行っており、文字情報としてホームページなどに掲載する場合の役割分担や、ネット上の個人情報の取扱など、警察と協議してまいります。 なお、呉市では防災行政無線の聞き直しテレホンサービス(0570-090904)を提供しております。このサービスの市民広報にも努めてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
23	<p>○呉市は、瀬戸内スポーツブランディング推進事業ということで、地域スポーツの資源を生かして様々な取り組みを実施されている。呉市は地域資源に恵まれていると思うので、地域資源をいかに生かして地域を盛り上げていくのかといった視点を、ぜひ後期計画の中でも取り入れてほしい。</p>	スポーツ振興課	<p>○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>
24	<p>○出産を行う拠点病院が現在呉市には、呉医療センターと中国労災病院があるが、数年後には、呉医療センターだけになってしまう可能性がある。そうなると、「若い世代が安心して子供を産み」の「産み」がどんどん狭まって難しくなるばかりの中でどうやって産めばいいんだろうと思うので、拠点病院がこれ以上減少しないよう働きかけてほしい。</p>	福祉保健課	<p>○現在、呉市では地域で出産を支えていただく産科医等に対し分娩手当等を支給する産科医等確保支援事業を行っています。</p> <p>これは、処遇改善を通じて、急激に減少している産科医療機関及び産科医等の確保を目的とするものです。</p> <p>周産期医療体制については、令和6年3月末に県が策定した第8次広島県保健医療計画において、限りある資源と効率的な医療提供や医師の働き方改革の観点から、医療資源の重点化等の方向性が示されています。</p> <p>呉市としましても、医師・看護師を始めとする医療従事者の確保は、地域医療を提供する上での大きな課題であると考えています。</p> <p>市民の皆様が安心して子どもを産み育てることができるよう、周産期医療提供体制の維持に向けて、医師会、医療機関及び広島県と協議を進めてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
25	<p>○地域福祉を支える新たな基盤作りについて、重層的支援体制を中核的に進めていく推進室の機能は非常に大事であるが、当事者やご家族の意見をキャッチする仕組みが必要。地域で孤立している方も出てきており、身近で相談できたり助け合ったりが難しい状況である。地域での繋がりをあらためてつくること、非常に難しいし、時間もかかると思うが、その部分を行政としてどう取り組むかがこの計画に少なくとも入っていないといけないと思う。</p> <p>次世代を作っていく子どもたちの参画も含めて、長期的に考えていく必要があると思う。</p>	重層的推進支援室	○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。
26	<p>○資料1の9ページに地域福祉計画の策定が、評価指標KPIで掲載されている。令和3年から7年までずっと策定済となっているが、計画の評価とは、計画の目標に対してどの程度達成されているかということが重要なので、この策定済みの標記の仕方は変更した方がよいと思う。後期計画においては、評価指標の検討をお願いしたいと思う。</p>	福祉保健課	○後期基本計画の策定に当たり、適切な評価指標KPIを設定するよう検討してまいります。

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
27	<p>○2018年に西日本豪雨があり、呉市で防災・減災というのが非常に大きなキーワードになる中で、もう子どもたちの世代でも当時の経験を覚えていないというのが増えてきた。災害の経験の伝承は、ものすごく大きなテーマになっていくものの、もうすでに子どもたちの世代がそうなっているのだといったときに、学校ぐるみで防災・減災の取り組みというのは、今後もしっかり行っていかないと結果として地域力が上がらない、或いは地域のまちづくりのところにも絡んでいくというのを非常に感じている。この辺りのレジリエンスを高めるまちづくり、或いは学習というものをもっと打ち出せないかということを思った。</p>	<p>危機管理課</p> <p>学校安全課</p>	<p>○子どもたちへの防災の意識付けについては、これまでも学校の授業などに出向き、色々な方法で「研修」を行っています。</p> <p>中でも、低学年の子どもたちに対しては、手作りの「防災紙芝居」や「防災迷路」など、遊びの中で防災を意識できるような方法で「研修」を行っており、一定の手ごたえを感じています。</p> <p>子どもたちの意識が、今後の地域防災力の向上につながっていくことを強く意識し、更に工夫しながら防災教育を進めていきます。</p> <p>○呉市教育委員会では、呉市立全ての学校で平成30年7月豪雨災害の経験や記憶を風化させることなく教訓として未来への継承に取り組むとともに、頻発する自然災害に対して児童生徒が「自分の命は自分で守る力」を育成するために主体的に行動する力を身に付ける取組を推進しております。</p> <p>具体的な取組として、出水期までに、大雨を想定した避難訓練を実施するとともに、「土砂災害対応携帯マニュアル」を全児童生徒に配付して家庭に持ち帰らせ、避難するタイミングや避難場所、避難経路などを家族と一緒に話し合う取組や、令和2年度からは7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週間」と位置付け、広島県や呉市危機管理課による出前授業を実施したり、地域の防災リーダーや地域の教材を活用したりするなど、学校や地域の実情を踏まえた防災教育に取り組んでいます。また、多くの中学校区において、地域の方々、関係機関等と連携した合同防災訓練などに取り組んでいます。</p> <p>引き続き、家庭・地域を巻き込んだ防災教育を積極的に進めることで、児童生徒の防災意識の向上を図ってまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
28	<p>○若い人はもちろん大事で将来も大事だが、呉市民がシニア層をもっと生かすということがあっても良いと思う。経験を生かすというようなところをやれば良いのではないかと考えている。</p> <p>人口減少でコミュニケーション、コミュニティが希薄化している。ここで何を行うかというDXが1つあるが、DXでは賅いきれない。やはり人、その経験、知見を生かすというようなところは、人でやらないといけない。例えば、災害の経験をしているシニアの方が防災訓練の中に入っていき、そういうキャッチボールが若い世代とできるような形の組織作り、人づくりというのが大変必要だと思う。具体的に言えば、そういう経験者をボランティアとして登録する。</p>	地域協働課	<p>○地域活動やボランティア活動に関心のある方が一歩を踏み出すきっかけ作りとして、地域デビュー応援講座を開催し、地域で生きがいを見つけたい方、ボランティア活動や地域に興味がある方、地域にもっと人を迎え入れたい方などを対象に、年齢制限を設けず募集しております。講座では、実際に呉市内で地域活動やボランティア活動を行い市民公益活動団体として登録されている実践者から学び、体験できるようになっています。</p> <p>この講座を通して、学ばれた方が実際に地域で自分でできることを考え取り組み、世代間交流の機会へつながるよう、今後も市民の方々が参加しやすいテーマ選定等に努めていきたいと考えております。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
29	<p>○呉市においては、呉駅前をはじめとする都心部、それから島嶼部とか山間部といった中山間地域の両方を抱えている実態があり、それぞれ呉駅前の再開発では拠点性の向上、中山間地域住民の移動手段の確保、それぞれが課題になってくるものと考えている。こうした課題の解決に向けては、都市計画におけるマスタープランでコンパクトネットワークの考え方などをもとにして、交通結節点の整備等による乗り換え等の利便性の向上、待合環境の向上、また多方面の移動を促進していくという考えもある。交通拠点に生活施設を集約していくということができれば一番集まりやすいというところではあるが、こういったことも含めてまちづくりの観点から交通についてもご検討いただければと考えている。特に生活関連施設への公共交通のアクセス性の向上に向けて、交通事業者とか利用者の方々、地元施設との連携を図っていく必要もあると考えている。交通と生活サービスの相乗効果を生み出す。こういった関係者による話し合いの場づくり、交通とまちづくりの一体化の視点を持った取組を県も進めていきたいと考えているので、ぜひ総合計画においてもこういった観点視点から議論を進めていただきたい。</p>	<p>都市計画課</p> <p>交通政策課</p>	<p>○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p> <p>○後期基本計画の策定に当たり、今年度中の策定を予定している、呉市地域公共交通計画（仮称）の内容も踏まえ、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
30	<p>○女性の創業支援事業があるが、男女共同参画と言いつながら女性だけの創業支援になっているので、男性も含めて皆さんの創業支援をしていただけたらと思う。</p>	<p>商工振興課</p>	<p>○委員ご案内の創業支援については、第5次呉市長期総合計画前期基本計画の産業分野において、「新たなチャレンジへの支援」として施策の1に掲げ、地域全体で、女性や若者を始めとしたあらゆる人の新たなチャレンジを支援しているところです。</p> <p>こうした中、創業支援事業を通して、潜在的な女性創業希望者が多くいることが分かりました。資格や趣味を生かしたプチ創業への意欲や「自己実現のために創業したい」といった、男性創業希望者からはあまり聞かれない意見や、出産等によるキャリアの中断といった女性特有の課題が見えてきました。女性に寄り添った創業支援は、女性のコミュニティ形成や自己実現をする女性の増加につながるものと考えております。</p> <p>また、男性も含めたあらゆる人の創業支援については、創業チャレンジセミナーや起業家支援プロジェクト等の周知などにより、創業機運の醸成と起業家の支援・育成に引き続き努めてまいります。</p>
31	<p>○太陽光発電システムの設置助成だが、太陽光はメリットばかり聞くことが多く、設置するための助成もあるが、売電をすると所得が20万を超えた場合、税金がかかることがあるし、古くなって処分する場合には多額の費用がかかることもあるので、何年か後には今の空き家問題と同じでほったらかしにならないようにしてほしいと危惧している。</p>	<p>環境政策課</p>	<p>○本市が行っている太陽光発電システムの設置助成については、売電ではなく自家消費を目的とした設備を対象としているため、国の固定価格買取制度を利用し売電する設備については助成の対象外としています。</p> <p>また、設置場所については、原則、建物の屋根に設置することを要件としているため、固定価格買取制度を利用した野立ての太陽光発電設備と比較し、ほったらかしになる可能性は低いと考えています。</p> <p>なお、国の固定価格買取制度を利用する太陽光発電設備については、2022年7月より廃棄費用を積み立てることが義務化されており、太陽光パネルのリサイクル義務化に向けた議論も始まっています。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
32	<p>○スマートシティの実現に向けた取り組みで呉市版のごみ分別アプリの「さんあ〜る」は、ごみの収集日も知らせてくれ、分別の仕方もわかるのでとても便利に使っている。もっと広報されたら良いと思う。</p>	環境業務課	<p>○市のホームページや市の公式LINEで広報しております。合わせて、出前トーク、広こどもまつり等のイベントでもダウンロード方法の説明等を行っております。</p> <p>令和6年度版のごみ出しカレンダーからはアプリのQRコードの掲載をしております。令和7年度版のごみ出しカレンダーにはより詳しい操作方法のページの記載を予定しております。</p> <p>環境業務課への電話での問い合わせの際にも、アプリについての説明も行ってまいります。</p> <p>今後とも、より多くの方に「さんあ〜る」活用していただけるよう、引き続き操作・活用方法も含めて周知していきます。</p>
33	<p>○キャッシュレス化について、法人税の納付書などは、呉市には今まで通り、今後とも納付書を送付いただいて、ホームページからもダウンロードできるよう続けていただけたら助かる。</p>	市民税課	<p>○現在、申告書及び納付書は郵送を希望しない法人を除き全て郵送しています。電子申告、電子納付を推奨し、環境負荷の軽減等の観点から、書類の郵送を止める自治体も出ていますが、呉市は当面郵送を取りやめる予定はありません。しかしながら、今後、申告、納付の電子化が更に普及し、郵送の必要性が低下した場合は郵送の取りやめを検討する可能性があります。なお、納付書等のホームページでのダウンロードは続けていく予定です。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
34	<p>○幸町地区総合整備の推進について、これはやはり一体的に検討するのがいいのか、僕は市立美術館をどうしていくのかという部分をもっと明確に打ち出して欲しいなという気持ちを観光客の視点で持っている。色んな都市を見てみると、美術館の充実でかなりの観光客を集めている都市が多いと思うので、そういった視点で市立美術館の再整備のような形で検討していただければありがたい。</p>	企画課	<p>○幸町地区総合整備に当たっては、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として、再整備することとしています。この基本的な考え方に基づき、幸町地区総合整備検討有識者会議において、地区全体のコンセプトや配置する機能、美術館の建替や入船山記念館の整備、青山クラブ・桜松館の保存・活用について検討を行っております。幸町地区総合整備の中で、多くの方に訪れていただける美術館となるよう、検討を進めてまいります。</p> <p>なお、美術館の具体的な整備内容については、別途、美術館あり方検討委員会で専門的な見地から検討を進めております。</p>
35	<p>○幸町地区は、美術館通り上に入船山記念館もあり、すごく素敵。時々この史代さんの原画展などを行っていて素敵だが、美術館の中身の充実度が、あまり外の人に来てもらいたいというような展覧がないので、もう少しできたら良いと思う。</p>	文化振興課	<p>○皆様からの様々なご意見を参考に、市外・県外の方にもご来館いただき、多くの方に喜んでいただけるような展覧会等を企画してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
36	<p>○女性創業支援事業で、私も講師として関わらせていただいて今年で3回目だが、題名と中身が伴っていない。女性のサークル活動よりみたいな感じである。もうちょっと事業を本格的にやりたいという方を応援するのであれば、もう少しプロというか、本格的な内容が良いのではないかとすごく感じている。何か他にそういうプロジェクトができれば良いとすごく思う。</p>	商工振興課	<p>○現在の女性の創業支援事業は、「何から始めてよいかわからない」段階の女性を対象としています。今後、経営などに関する内容を扱うアドバンスコースも検討したいと考えております。</p> <p>また、対象は女性に限りませんが、実際に事業を始めている方を対象としたセミナーを実施しております。</p> <p>販路拡大セミナーという、事業内容や経営状況を見つめ直し、戦略的な視点に立った「経営力」を養うセミナーがあります。さらに、くれ産業振興センターが実施する人材育成塾（ミギウデ/カクシン塾）は、アドバイザーや外部講師の講義から、事業を発展させたり、新事業に挑戦したりするために役立つスキルを学べる内容になっております。</p>
37	<p>○まちを涼しくしていくための対策、この会議でもグリーンインフラというお話をさせていただいたと思うが、そういった観点も引き続き必要なのかなというふうに思っている。</p>	企画課	<p>○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
38	○野呂山の観光施設を再興してほしい。	観光振興課	○令和6年度、老朽化が進む野呂山各施設を含め、野呂山山頂全体の魅力向上に向けた再整備基本構想策定に向け取り組んでいる所です。その中で各施設のあり方（新設、改修、廃止）を検討していきます。
39	○呉地域のオープンカレッジネットワークに関して、本学も色々申請させていただいて助成をいただいている。大学生にとっては、チャレンジして呉と関わるということを通して、呉への地元愛が生まれるということもあるので、ぜひこういう枠を広げていただきたい。もちろん気軽に応募して良いものではないが、きちんと考えがあって申請すればとおりやすい状況であればより申請する団体等も増えるので、今後ともお願いしたい。	企画課	○呉地域オープンカレッジネットワーク会議では、呉地域（呉市、坂町、大崎上島町）の活性化につながる研究活動や学生主体のプロジェクトなどに対する助成事業を実施しています。これらの事業を通して、呉地域の活性化だけでなく、委員のご指摘のとおり学生の地元愛、愛着の醸成につなげていきたいと考えています。引き続き、より活用しやすく、より有効な事業を展開できるよう、参画機関の皆様と検討してまいります。
40	○観光振興ということで、体験型の観光をもっと推進していただきたい。みかん狩り、牡蠣の収穫など素材がたくさんあるのでそこを生産者の方に色々工夫していただいて楽しんでもらえれば良いと思う。特に、インバウンドの方は、饅頭など全然手に取らず、体験型の観光にすごく興味がある。自分がそこに行って何をしてきたかということに重きを置いておられるので、ぜひともこの観光振興の中に体験型の充実をお願いしたい。	観光振興課	○呉市には、農業・漁業・工業など地域に根付いた幅広い産業があり、これらを活かして体験型商品として造成し、販売をすることで、インバウンドを含めた観光客誘致や観光消費額の向上につながると考えています。 一方で、体験型商品の造成・充実には、受入事業者の担い手確保や収益化、施設の魅力化などの課題もあります。 呉市では、地域経営の視点にたった持続可能な観光地域づくりを推進する中核的な役割を担う新しい組織を立ち上げ、令和7年4月からはマーケティングに基づいた観光プロモーション等を行うこととしており、今後、顧客ニーズを把握した上で、呉のブランドイメージに即した既存商品の磨き上げや、満足度の高い新たな体験型商品の開発など、事業者と一体となって取り組んでいきます。

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
41	<p>○ここ何年か稲作，海苔や牡蠣の養殖，産業の体験が増えている。就農体験，1次産業の体験が意外と若者にうけており，絶対数は多くないが，参加する人たちの定着率が比較的高い。ぜひ呉市での就農体験，水産業の体験に取り組んで欲しい。</p> <p>農水産業に関心を持っていただき，そこで実際に体験することで，少数とはいえ確実に1次産業に移りたいと思っている若者たちもいるので，そういう人を掴む政策を行うことで観光にも役に立つ，人口減も抑えられる且つ農水産業の振興にもなると思う。ぜひ取り組んでいただきたい。</p>	農林水産課	<p>○農業については，現状，農業の普及・振興を図る目的で設置された施設（農業振興センター，恵みの丘蒲刈）において，栽培技術習得セミナーや柑橘の栽培基礎講座といった体験学習の場を設けています。水産についても漁業就業希望者向けの体験制度があります。また，生産者自らが体験活動を提供している事例も増えてきております。</p> <p>今後は体験の場が広がるよう制度の見直しや拡充，事業者との連携や支援等を検討してまいります。</p>
42	<p>○「野呂山観光施設の利活用」というのはすごく良いことだと思う。私としては，ここに防災の観点をに入れていただきたい。観光の充実化を行い，利活用し，たくさんの方が来ることは良いことだと思うが，野呂山でも大雨の時に崩れた箇所が過去にあったと思う。例えば，それがどのような所だったのかを表示版などに書き入れてもらえると良いと思う。</p>	観光振興課	<p>○平成30年度の西日本豪雨災害では，野呂山の道路も大きな被害を受けました。県道の「さざなみスカイライン」，市道の「林道郷原野呂山線」では，崩落が複数の箇所で見られました。特に，林道郷原野呂山線の橋は崩壊し，橋の復旧まで長期の年数が掛かり，令和5年4月の通行止め解除まで，野呂山に，大きな影響が出ました。</p> <p>令和6年度において，野呂山山頂全体の再整備基本構想の策定を予定しており，その中で防災の観点も含め，検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
43	<p>○施策に「④豊かな森林の形成」というのが書いてあるが、具体的なところは何もない。それどころか1番上に「農水産業の振興」と書いており林業に関することは一切ない。しかしこれは、林業自体が衰退しているからなのかもしれないし、市として行うべきことをここに書いてあるから県や国が行うべきことについては、触れてないのだと言われればそれまでだが、実は呉市にとって災害の観点から見ると昔ははげ山で、非常に頑張って森林で覆われる環境をつくるということがなされた。</p> <p>そういう色んな農林業との関係のものが今実は放棄されているところがたくさんあり、木は生えてはいるが非常に地盤が脆弱で崩れやすい。大雨の時にそこから崩れたものが土石流となって下流の方に流れて、大きな災害に繋がるというもある。そういう意味で、この豊かな森林の形成は極めて大事なことである。これは市が行うことでなければ県、或いは国に働きかけをするという、放棄田畑とかの対策も含めてここを行っていくと記載すべきだと思う。</p>	農林水産課	<p>○本市においては林業を主とする経営体がほぼ存在しないことから、農水産業を主軸に置いた振興策を展開しています。</p> <p>そのような状況の中、森林保全や防災の観点から、林業とは別に市有林を含めた民有林の適正な管理を実施する各種事業を展開しております。</p> <p>計画的な治山事業、人工林の間伐、天然林の整備、住民団体による森林整備に対する支援、インフラに隣接する災害に強い森林の整備など豊かな森林の形成を図っています。</p> <p>このような取組を実施するにあたり、国の森林環境譲与税や県のひろしまの森づくり県民税も活用して、本市の実情に沿った森林の形成・保全に引き続き努めてまいります。</p>
44	<p>○施策分野6都市基盤分野の「安心して住み続けられるまちづくりの推進」のところで、48ページに「《新規》既存盛土の現況調査」とあるが、熱海の盛土が崩れて土石流化して下の方の住民がたくさん命を奪われた。それをきっかけにして色んな所で調べられている。これも市が全部できることではないと思うが、下の方に影響する可能性がある場所があり、下に多くの方が住んでいる所があるのであれば、できるだけ早くピックアップして対策をするように言う必要があると思う。</p>	都市計画課	<p>○市内の既存盛土の分布状況や応急対策の必要性の有無等の調査につきましては、令和6年度中に完了させる予定で作業を進めております。</p> <p>○本調査の結果、変状等が確認され、要詳細調査（地盤調査、安定計算）の実施が必要となる盛土等につきましては、土地所有者等と速やかに協議し、必要な対策等を講じることで、安心して住み続けられるまちづくりの推進を図ってまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
45	<p>○53ページの道路の整備は非常に大事。地域振興にも役に立ち、いざという時に1本の道路が通れなくなったために孤立してしまう、陸の孤島になるなどは、いっぱいあるが、代替の道路があるとこれで助かることがいっぱいある。そういう意味でも道路の整備は極めて重要。でも同時に、道路の横の斜面の崩れや落石対策も極めて重要で、呉の場合は斜面が多いからそういうことを合わせて行っていく必要がある。ただネットワークを増やすという書き方だけではなく、そういうところへの配慮が、どうしても市ではできないこともいっぱいあると思うので、できないことは行ってもらえるように陳情していく必要があると思う。</p>	土木企画室 土木維持課	<p>【土木企画室】 ○呉市では、市独自の国・県要望活動や、呉市長が会長の6期成同盟会（東広島・呉自動車道、広島呉道路、国道185号、国道487号等、呉平谷線、中部島地域架橋）などにより、近隣市町と連携した要望活動を行っており、現在、広島呉道路の4車線化事業や呉平谷線のバイパス整備等を着実に進めていただいております。今後も道路ネットワークの機能強化のため、取組を進めてまいります。</p> <p>【土木維持課】 ○既設の市道の道路法面等につきましては、経年劣化が進んでいるところが多々あり、調査の結果、崩壊の危険性が高いところは修繕するなど法面崩壊対策を実施しています。今後も対策を続けていくことにより、道路環境の安全性向上を図っていきます。</p>
46	<p>○DXと効率的な行政システムの確立を少し行き来するようなところで、呉市でも原課で所管されている条例の運用状況の確認と業務見直しを一気に進めていただく必要があるのではないかと思う。</p>	行政改革 デジタル推進課	<p>○本市では、BPR（業務改革）について、今年度から全庁的な取組を進めているところです。 BPRの取組を進める際には、業務プロセスの可視化を行い、非効率となっている部分について、業務の効率化を図るとともに、必要に応じて、デジタル化やオンライン化を図ることとしています。また、業務を行う上で定めている規則や要綱、事務マニュアル等についても併せて見直すこととしています。</p>
47	<p>○現在アナログ規制法が、国の方では始まっているし、そういった観点も含めて現在アナログでやっている業務を見直した上で、デジタル化が適当なものはデジタル化、オンライン化もさらにできるものはオンライン化という形で運用状況の確認と業務見直しを行っていくことと、人材の育成・確保の辺りも含めて検討いただきたいと思う。</p>	デジタル推進第1課・第2	<p>○こうした取組をとおして、多様化する市民ニーズや新たな行政課題に対応できる効率的な行政システムの確立に取り組みます。 また、デジタル人材の育成・確保に向けて、令和6年1月から『Udemy Business』を活用するなど、デジタル技術に精通した人材の育成に取り組んでいきます。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
48	<p>○外国人が過ごしやすいまちづくりを進めていく必要があると思う。</p> <p>外国人観光客が過ごしやすいまちづくりというのは外国人住民にとっても過ごしやすく、これから呉市が外国人の留学生をたくさん受け入れるのであれば、そのあたりの対応をしっかりとっていく必要があると考えている。</p> <p>私が実際に行政の方にヒアリングした時に、事前に準備していなかったから災害時には情報発信できず外国人に対しては、何も対応できなかったという声を聞いた。これからさらに外国人が増えるということであればそのあたりの対応が、この中に「多文化共生社会の実現」という一文が政策分野3のところには入っているが、しっかりとっていく必要があると思う。</p>	地域協働課	<p>○呉市国際交流センター、呉市東部地区外国人総合相談窓口では、外国人住民が安全・安心で過ごしやすいまちづくりの実現を目指し、外国人相談員を配置し、「呉市で暮らす外国人のための生活ガイドブック」の普及・啓発、多文化共生事業の推進を行っております。外国人観光客が過ごしやすいまちづくりについては、観光振興課、関係団体と連携を図ってまいります。</p> <p>さらに、災害時には呉市国際交流協会Facebookに、外国人住民に向けて多言語とやさしい日本語で随時投稿し、情報を発信しているところです。</p>
49	<p>○京都に行くとき自転車レーンが書いてあるところが多い。法律上自転車は基本的に車道を走らなければならないはずだが、自転車レーンがあるとそういうところも言葉がわからない外国人の観光客の方もわかりやすいと思う。呉市はたくさん島嶼部に素晴らしいツーリングスポットがあるので、その辺の整備を進めると海外の方が来やすくなると思う。</p>	土木企画室	<p>○自転車通行空間の整備については、令和6年6月に策定した呉市自転車活用推進計画に基づき、中央地域及び阿賀・広地域において進めています。その他の地域については、今後状況を見ながら追加を検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
50	<p>○政策分野7の環境分野に関してお話する。2022年にプラスチック資源循環促進法が施行されて、それを受けて呉市も昨年度ごみ分別を試験的に焼山の方でされて2025年度から分別が開始されるというのを中国新聞で拝見した。これはすごく良い機会だと思う。今環境分野の政策のところには太陽光パネルのこととかエネルギーに関することはたくさん書いてあるが、特に生ごみは市のごみの4割とか3割を占めている。その生ごみの8割は水分で生ごみをそのまま燃やすというのは水を燃やしているようなものである。呉市には助成金がないが他の多くの自治体では生ごみの堆肥化とか乾燥させるための色々な設備の補助金がある。これを充実させていく、生ごみの水を切っていくことの重要性を訴えるというのは、市民それぞれが協力すると市のごみから排出されるCO2の削減効果は大きいと思うので、この機会を逃さぬように、広報もできれば良いと思う。</p>	環境政策課	<p>○プラスチック資源の分別収集及び再商品化に関しまして、昨年度実施した実証事業の結果により、家庭から排出されるプラスチックの種類や量を把握することができたことから、今後、本市全域で分別収集の早期実現を図るべく、より具体的なプラスチックの再資源化について民間事業者の活用の可能性を調査するため、令和6年7月にサウンディング型市場調査を実施しました。現在、これらの提案等を参考に、事業手法や事業者募集等の検討を行っています。</p> <p>生ごみ処理に関する助成金につきましては、平成13年から平成21年の9年間、電気式生ごみ処理容器購入費の補助を行っていましたが、現在は行っておりません。家庭ごみにおける可燃ごみの重量比で多くを占める生ごみの減量化は、温室効果ガスや処理費用の削減につながることから、生ごみ処理に対する助成について検討してまいります。</p>
51	<p>○空き家バンクとか家市場というサイトを見ることがある。呉市の両城とか車が停められない住宅がとても安い価格でよく載っている。こういう物件は価格や眺めも良く、とても魅力的に思う。このような物件を、若者など移住を考えている人の目にもっと留まるようにしたら良いのではないかと思います。積極的に発信することで空き家対策にもなり、住民も増えるのではないかと思います。</p>	住宅政策課	<p>○「呉市空き家バンク」の掲載物件については、市ホームページだけでなく、令和5年度からは、「呉市移住定住ポータルサイト（KURETO）」にも空き家情報を掲載するなど広報に努めています。</p> <p>また、昨年度においては、呉工業高等専門学校の学生と協力し、「呉市空き家バンク魅力向上プロジェクト」と題し、空き家バンクに掲載されている物件の中から、学生の皆さんの提案による魅力的なリフォーム案を考えていただくなど、空き家の有効活用に向けた事業にも取り組んでいるところであり、引き続き情報発信に努めてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
52	<p>○観光振興についてだが、商工会議所の方も観光振興については力を入れていきたいと考えており、インバウンド需要が円安もあって増えているのでそこに乗っかっていくのは当然のことだろうと思う。そこで各所が色んな企画やサービスの展開をしていくのは、各所に任せれば良いと思うが、やはり今は外国の方や日本の方も含めて何でそこに来るかというところで、例えば、インフルエンサーやネットを見てここすごいなということで、ネットを見て来られる方が圧倒的に多いと考えている。PRの仕方を考える時に、どうやってインフルエンサーを増やしていくのか、YouTuberをどうやって活用できるのか、そういった視点を取り入れていくことが今後望まれていくのではないかと思うので、そのあたりを検討してみてはいかがか。</p>	観光振興課	<p>○これまで、呉市では、令和5年度に観光情報を一元化する観光情報プラットフォームを構築し、令和6年4月から呉市公式観光サイト「くれとりっぷ」を公開、現在は、多言語（英語・繁体字・簡体字・韓国語）機能を追加するなど、インバウンドにも対応しているところです。</p> <p>また、観光PRの手段として、インフルエンサー等によるYouTubeやInstagram、X（旧ツイッター）などを活用した情報発信を、近隣市町で構成する広島中央地域連携中枢都市圏の枠組みで実施しています。</p> <p>そのような中において、呉市では、マーケティングの視点を取り入れ、地域の稼ぐ力を引き出すと共に、地域内の経済循環を高めるなど、地域経営の視点にたった観光地域づくりを推進する新しい組織を立ち上げる予定で、呉市全体で呉観光のブランド力を高め、ブランドイメージに合う観光プロモーション等を行っていく予定です。</p> <p>今後、この新組織が中心となって、個人観光客のニーズに応じた情報発信をより効率的・効果的に行い、新たな観光客層やリピーターの獲得につなげてまいります。</p>
53	<p>○蔵本通りで日曜に素敵なお店屋さんがたくさん出ており、私も大好きで時々来させてもらっているが、私のわがままだがこれを広の商店街も時々行ってほしい。</p> <p>すでにお父さん世代と大学生や高校生と一緒に、なって商店街を使って活動を行っている。基盤はあるため、大してお金もかけずにできると思う。多文化共生のまちづくりという意識の中で、それを広で行っていただくとすごく嬉しい。どんどん広のまちを住みやすく楽しいまちにしたい。</p>	商工振興課	<p>○市内中心地エリアでの様々なイベントなどの取組は、民間の団体が創意工夫し、自主的に行っていたものです。こうした取組が、市内各地に波及できるよう、支援制度の充実だけでなく、周知にも力を入れてまいります。</p> <p>また、各エリアで事業者や団体が自主的な取組ができるよう、障壁となっているものがないかなど、対話を重ねてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
54	<p>○ここ最近呉のネットワークを見ていて雨が降るとすぐに焼山にいけなくなるという道路の問題は非常に大きく、この問題も含めて呉市周辺部の活力低下に繋がっているのです、各拠点と結ぶ道路の強化は欠かせないし、人口定住の面も含めて非常に重点的なテーマだと思っている。同様に鉄道も同じ事が言えると思う。</p>	土木企画室	<p>○呉市では、市独自の国・県要望活動や、呉市長が会長の6期成同盟会（東広島・呉自動車道、広島呉道路、国道185号、国道487号等、呉平谷線、中部島地域架橋）などにより、近隣市町と連携した要望活動を行っており、現在、広島呉道路の4車線化事業や呉平谷線のバイパス整備等を着実に進めていただいております。</p> <p>加えて、郷原、苗代地区においては、近年、企業の生産規模が拡大するとともに、（株）ディスコの新工場建設により2千人以上の雇用創出が見込まれることから、これらの企業活動を支えるため、呉環状線（郷原～苗代）の整備を、広島県の次期道路整備計画に位置付け、早期事業化を行うよう要望しております。</p> <p>今後も道路ネットワークの機能強化のため、取組を進めてまいります。</p>
55	<p>○同じく都市基盤分野の中で、呉駅は大きいテーマで形がどんどん見えてきたタイミングになってきており、それに沿う形でスマートシティの取組や自動運転の実証実験が進められている。</p> <p>呉市が新しい産業開発、技術開発の拠点となる取組をもっと強化できないかと思っている。プロジェクトが動くというところが開発サイドからすると大きな魅力になっており、もうしばらくでまちが変わる技術というものが出てくると思うので、1つの産業になるような形で色々な組織づくりも含めて何かできていったら良いなと思う。その辺が後半の部分でより明確に記述をされれば良いと思う。</p>	企画課	<p>○後期基本計画の策定に当たり、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
56	<p>○政策分野6の都市基盤分野に関して、これは計画策定のときにも意見をさせていただいているが、呉はすぐく地域性が多様である。特に島嶼部や急傾斜の地区といったところの交通手段をどのように考えているか、当然航路のことや高齢者の方が多いので、敬老バスについても書かれているわけだが、十分だとは言えないと思っており、策定のときに私は地区別に計画を立てるべきであると提案した。市全体のことを総合計画には書いていかなければならないという回答だったと記憶をしている。ただ地域性の問題というのは、そこに住まれている人たちの属性もあり、高齢者で他に自前の交通手段を持たない方たちをどうしていくのかとか、それを全部福祉の問題として対処するのは難しいと思う。</p> <p>そのため、呉に住み続けられるということを考えるとき、若い人たちのことも大事だと思うが障害を持たれている方も含めて、すべての住民にとってどのような交通環境を整えていくかということをぜひ計画に盛り込んでいただきたいと思う。</p>	交通政策課	<p>○後期基本計画の策定に当たり、今年度中の策定を予定している、呉市地域公共交通計画（仮称）の内容も踏まえ、後期基本計画で取り組む施策に位置づけるよう検討してまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
57	○起業した後に軌道に乗せるところが今足りないのだと私は感じている。実際に起業されたがそこがゴールになって、そこからが大変問題ではないかと思う。というのは、その後のアドバイスがない。	商工振興課	○現在、中小企業支援センター等で、起業前から起業後の各ステップに応じた支援機関・有識者による相談・アドバイスを受けられるようになっていきます。今後も支援事業や支援機関をわかりやすく整理し、広報してまいります。
58	○DXについて。起業されたところほどDXが必要なので、情報提供、支援の制度が必要だと思う。		○DXについて、起業後の支援の中で、市の支援制度だけでなく、国・県の支援制度も含めてDXに関する情報提供等を強化していきます。
59	○呉地域の企業は大変魅力のある企業が多い。この辺が、特に大学生、高校生にはあまり知られていない。これは企業の体験や起業をされた経営者の話を聞くといったような実体験を積んでいただくことが、企業に魅力を感じてそのあとは呉市の企業に就職されるということにも繋がると思うので、そういうところを民間と一緒に行っていければと思っている。		○民間と連携した若者の市内企業への就職促進については、中小企業家同友会と共催する「高校生向けの合同企業説明会」において、多くの民間企業とともに、官民が一緒になって取り組んでいます。 その他、毎年大学生等に配布する企業ガイドを作成し、その中で学生が若年従業員を取材する記事を掲載することで、若者の視点を通じた企業の魅力を伝える取組も行っています。 引き続きこれらの取組を官民が連携して総合的に推進し、若年層の市内企業への就職を促進していきます。
60	○タクシーに関して、呉のタクシーはカードが使えない。どの会社もそうで、聞くと、設備投資にお金がかかる、手数料が取られるなど色んな考え方があるようだが、個人タクシーは、カードを使えるが、他のタクシー会社では、カードを導入してなくて使えない。それだと広島に負けてしまう。カードが使えないのだったら利用しないなど色んなことが起きそう。カードが使用できるように、市の方で助成をされると良いと思う。	交通政策課	○カード利用に対する設備投資への助成の実施については、公益性や費用対効果等の観点から、慎重に検討してまいります。

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
61	<p>○呉市としてインバウンドのデータを把握しているのか気になる。この前観光振興デジタルプラットフォームにアクセスしたが、リアルタイムで各市町村まですごく綺麗なデータが見られた。呉市のインバウンドデータの把握が上手くいっているのかどうか分からないが、もし上手くいっていなければぜひそのインバウンドのデータをまず把握しないと戦略も立てられないと思うので、まだならご検討をお願いしたい。</p>	観光振興課	<p>○呉市では、観光施設の来館者数等から観光客数を把握しており、インバウンドについても同様に推計をしているところです。 デジタルデータを活用した観光客数の把握については、広島県（観光連盟）で取組が進められており、今後インバウンドについても把握できるよう調整中です。 これから、たくさんの「呉ファン」を生み出し続けるためにも、インバウンドの誘客や新市場の誘致などは大切であることから、新たに立ち上げる観光推進団体では、県のデータも活用しながら観光戦略の策定を行っていきます。</p>
62	<p>○市の施設や公園に、スケボー、バスケ、ダンスなど若者の好きそうな遊び場、施設などが欲しい。</p>	スポーツ振興課	<p>○呉市での、新たなスポーツ分野の振興や呉の若者のコミュニティ形成の場の創出を目指して、呉ポートピアパーク及び天応公園でのアーバンスポーツ施設整備を進めています。 種目としましては、スケートボード、BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなどのダンス競技を考えております。 競技関係者のほか、若者の意見を聞きながら事業を進めていきます。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
63	<p>○日新の跡地利用についての意見  弾薬庫ができるといううわさをTVを通して知ったが狙われることがあれば怖い。住民は恐怖を感じる。熊本の半導体工場TSMCのような産業、雇用を生み出す施設ができるのであれば賛成したい。現実的でないのかもしれないがショッピングモールができてほしい。</p>	商工振興課	<p>○日鉄呉地区跡地については、現在、防衛省が多機能な複合防衛拠点の整備を検討しており、これまで2度開催された同省、日鉄、広島県、呉市の4者協議の場において、呉市として必要な意見はしっかりと伝えていきます。</p> <p>本年7月3日には、呉市長・呉市議会議長が防衛省を訪問し「火薬庫を主たる目的とする施設としないこと。また、施設の整備及び運用に当たっては、法令を遵守し、事故が発生しないよう、安全管理を徹底するとともに、騒音や道路環境の変化などにより地域住民の生活に支障が生じないよう考慮すること」などを要望したところです。</p> <p>また、跡地については防衛省が取得することが決定しているわけではないため、民間での利活用策についても広島県と共同で検討しているところです。</p> <p>いずれにしても、この跡地が呉市にとってよりよい利活用となるよう取り組んできたいと考えています。</p>
64	<p>○高校生の医療費500円はありがたい。継続してほしい</p>	こども支援課	<p>○こども医療費助成に限らず、子育て施策やこども・若者の意見を聴きながら、引き続き、こども福祉施策をすすめてまいります。</p>

No	委員からの提案・意見	対応課	呉市の回答
65	○大和ミュージアムも出来てしばらく経つが呉の誇れるものとして、さらに良くなってほしい。	学芸課	<p>○大和ミュージアムは、日本の近代化の舞台となつて、近現代を牽引してきた呉の歴史と、その礎となつた科学技術の素晴らしさを伝えるとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるという充実した内容において、高い評価を得ており、まさに、世界オンリーワンの博物館といえると考えております。</p> <p>その魅力を更に高めるため、令和6年度から令和7年度にかけて大規模リニューアルを行ってまいります。リニューアルでは、展示改修に併せて、開館以来、大規模な更新を行っていないことにも対応した、空調設備の増強や既存不適格部分の改修、デジタル技術の活用や展示資料解説の多言語化、ユニバーサルデザインを導入することにより、更なる魅力と快適性を向上してまいります。</p>